

# 浜松医科大学内科専門医研修プログラム (浜松医科大学医学部附属病院)

## 1 はじめに

「新しい専門医制度」がはじまって3年目を迎えます。今年も浜松医科大学の内科専門医研修プログラムには定員30名の中、30名の応募があり、もう専攻医の皆さんは専門研修をはじめています。我々の専門医研修プログラムでは、専攻医の先生方にできるだけ早くサブスペシャリティの専門研修に進んでもらうために、あらかじめ初期研修中に研修した症例を確認し、少しでも早く各領域の必要症例を経験できるように、(とくに症例が不足しがちな領域も含めて)専攻医一人一人に合ったきめ細かいカリキュラムを作成しています。また、県内外の多くの医療機関の協力を得て、先進的で高度な医療を経験できる大学病院と第一線の医療を担う市中の医療機関の両方で幅広い研修を行うことができ、学内外の豊富な指導スタッフを揃えています。まだ新専門医制度ははじまったばかりで先生方にも不安があるでしょうが、浜松医科大学の内科専門医研修プログラムは、指導体制、カリキュラム、連携病院なども含めて自信をもって薦められるプログラムとなっていますので、是非、多くの先生の参加をお願いする次第です。



プログラム統括責任者 浜松医科大学医学部附属病院 第二内科 教授 須田 隆文

## 2 目的

本プログラムの到達目標は以下の通りです。

- ① 臓器別の内科系 Subspecialty 分野の専門医に共通して求められる基礎的な診療能力を修得すること。
- ② 知識や技能に偏らずに、患者に人間性をもって接する能力を修得すること。
- ③ 医師としてのプロフェッショナリズムとリサーチマインドの素養を修得すること。
- ④ 静岡県内の医療事情を理解し、地域の実情に合った実践的医療を行えるようになること。

そのために具体的には、

- ・70に分類された各カテゴリーのうち、最低56のカテゴリーから1例を経験すること。
- ・日本内科学会専攻医登録評価システムへ、症例(定められた200例のうち、最低160例)を登録し、それを指導医が確認・評価すること。
- ・登録された症例のうち、29症例を病歴要約として内科専門医制度委員会へ提出し、査読委員から合格の判定をもらうこと。
- ・技能・態度：内科領域全般について診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、お

よび治療方針を決定する能力、基本領域専門医としてふさわしい態度、プロフェッショナルリズム、自己学習能力を修得すること。

を、3年間の専攻医研修期間で完了することになります。これは、内科専門医受験資格を得るために必須の条件でもあります。

### 3 研修病院群

#### (1) 専門研修基幹施設

浜松医科大学医学部附属病院

#### (2) 専門研修連携施設

連携施設 県西部 (12)	連携施設 県中部 (11)	連携施設 県東部 (5)	特別連携施設 (13)
磐田市立	静岡県立総合	静岡県立がんセンター	公立森町
御前崎総合	静岡市立静岡	沼津市立	国民健康保険佐久間
市立湖西	静岡市立清水	富士宮市立	浜松市リハビリテーション
菊川市立	静岡赤十字	静岡医療センター	浜松南
国立病院機構 天竜	静岡済生会	NTT東日本伊豆病院	三島総合
静岡厚生連遠州	静岡厚生連 静岡厚生		伊豆保健医療センター
聖隷浜松	静岡徳州会		三島共立
聖隷三方原	島田市民	連携施設 県外 (1)	裾野赤十字
浜松医療センター	焼津市立総合	NTT東日本関東	北斗わかば
浜松労災	藤枝市立総合		坂の上ファミリー クリニック 坂の上在宅医療支援医院
浜松赤十字	標原総合		共立蒲原総合病院
中東遠総合 医療センター			静岡てんかん 神経医療センター
			新城市民病院

### 4 専攻医受入数

30名。全ての内科領域を広く研修したい専攻医のために内科全般を研修する内科基本コース(5名)、早い段階から Subspecialty の研修を希望する専攻医のために診療科重点コース(25名)を設置しています。

### 5 研修期間

3年。そのうち、当院での研修期間は、6ヶ月、1年、2年を設置しています。